

2022
1
Vol. 59

社会福祉法人すこやか福祉会

発行日: 2022 年 1 月 1 日 第 59 号

本部事務局 住所: 〒120-0023

東京都足立区千住曙町 4-16

TEL: 03-5813-9251

住みなれたまちで



謹賀新年

二〇二二年の新春を迎えるにあたり、

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

はじめの年頭のご挨拶を申し上げます。昨年六月に理事長を仰せつかりました。

私は医学生時代から民医連運動に関心をもち、一九八一年に医師になって千葉民医連で研修医をしたあと、一九八四年から二〇一一年まで医療法人財団健和会で仕事をしました。みさと健和病院のリハビリテーション病棟、みさと健和団地診療所、まちかどひろばクリニック、柳原リハビリテーション病棟の立ち上げに参加しております。柳原リハビリテーション病棟の前理事長の中山美千代さんと一緒に、苦勞をともにしました。その後、千住介護福祉専門学校、佐久総合病院、日本福祉大学社会福祉学部を経て、いまは公立長野大学社会福祉学部で働いております。

地域の人々と一緒に作り上げる地域医療、在宅ケアやリハビリテーション医療を通じて、医療の歴史、対人援助の技術のあり方、多職種協働への関心を育んできました。

健和会では、リハビリ医療や在宅医療を通してすこやか福祉会の事業所とのおつき合いも多く、もともと親しみがありました。理事長をお引き受けし、各事業所を訪問させていただいて、当法人の大きさ、成長の速さ、理念・技術・経営力量に、あらためて目を見張っています。なかでも、私から見てたいへん若い職員の皆さんの頼もしさには驚くばかりです。

当法人は、保育・学童保育と高齢者介護を柱に成長してきました。高齢化と少子化、生き方の多様性が深まるなかで、地域社会に支えられ地域社会を支えるために一層多様な役割が期待されています。地域の皆さまとの結びつきは当法人の存在意義そのものです。そして、健和会をはじめ医療法人がルーツの一つであることが、当法人が存続・発展する上での大きな強みです。地域社会を基盤とし結びつきを強めながら、社会福祉と医療が連帯する事業のあり方を提起するのが、東都保健医療福祉協議会と民医連運動の任務だと思います。

昨年からの新型コロナウイルスは、いのちと暮らし、労働・営業を脅かしつづけています。経営を立て直すための奮闘を通じて、連帯の事業を前に進めていかねばなりません。本年もどうかよろしく願っています。

社会福祉法人 すこやか福祉会

理事長 藤井 博之

統括エリアマネージャーと保育事業部長より新年のご挨拶



すこやか福祉会
統括エリアマネージャー
落合 直人



すこやか福祉会
保育事業部部長
石井 良子

昨年は新型コロナウイルスへの対応で各事業所の不安と緊張感が高まる中、新年を迎えることとなりました。ご利用者様も職員も感染予防に努めていましたが、複数の事業所で陽性者が発生し、休業を余儀なくされたデイサービスもありました。また、通所介護・小規模多機能・グループホーム・訪問介護の全事業所で介護支援ソフトを導入しました。2021 年介護報酬改定とも重なり、各事業所で本当に奮闘した1年だったと思います。

新型コロナウイルス感染者数も落ち着きを見せ、ご家族の面会や外出等の基準も緩和した中で新年がスタートしました。新しい変異株も国内で報告されていますので、今年も引き続き感染予防対策を徹底していきます。これまでの感染対応の経験を活かして事業継続計画を整備するとともに、自然災害時にも各地域で利用者様を支えられるように防災訓練も実施していきたいと思います。

利用者負担額法人独自減免制度を地域に浸透させて、貧困を理由に介護サービスを十分に受けることができない地域の人たちに手を差し伸べることも社会福祉法人としての重要な責務です。

職員の確保・育成はますます困難な状況を迎えていますが、東都協議会として支援している特別養護老人ホーム小鳩園(埼玉県三郷市)や、同じ民医連に加盟する東京さくら福祉会と人的交流等の連携をさらに深め、展望を見い出せる1年にしていきたいと思います。



2021 年もコロナ対応で追われた 1 年でした。子どもたち・保護者・職員の健康観察、検温、消毒、密にならない工夫を限られた職員数、限られた保育室面積で行われなければならないという状況でした。コロナ禍でも、子どもの成長を止めることなく、保育理念にもある『共育て』を子どもの成長を保護者と共有するにはどうしたらいいかを考え、保護者会はリモート形式で行い、運動会やバザーは人数制限をして感染予防に努めながら行いました。制限がある中でも開催したことで、保護者からは『子どもたちの成長が見られてよかった』という感想が多くありました。



新年を迎えても、子どもたちの笑顔を守れるよう、感染症対策をしながら、楽しい毎日を過ごす工夫をしていきたいと思います。

また、保育園・学童は、新年明けてから 3 月末までは、年度末のまとめをすると共に、新年度の新しい子どもたちを迎え入れる準備をする一番忙しい時期になります。そんな忙しい時期ではありますが、保育事業部では、世代別研修を行い、施設の枠を越えた横の繋がりを深めていきたいと思います。

これからも子どもたちの笑顔をいろいろな形で皆様にお届けしたいと思います。

2022 年も保育事業部をよろしくお願いいたします。

2022 年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



ご長寿 おめでとうございます

すこやか福祉会を利用されている、ご長寿の利用者さまを
ご紹介させていただきます。

※年齢は 2022 年 1 月 1 日現在です

以下内容にてお話を伺いました。

- ① 出身地
- ② 趣味・好きな食べ物
- ③ 長寿の秘訣

104 歳



- ① 富山県魚津市
- ② 洋画鑑賞、お遍路さん・饅頭
- ③ 苦労しないこと

特別養護老人ホーム
葛飾やすらぎの郷
石持 とめ 様

101 歳



- ① 新潟県松代
- ② 民謡を踊ること・新潟の美味しいお米のご飯、キュウリの漬物、味噌汁
- ③ 頑張っていること

特別養護老人ホーム
葛飾やすらぎの郷
熊木 ハツイ 様

100 歳



- ① 宮城県栗原郡金成町
- ② 編み物・どら焼き、お寿司、鰻
- ③ 好き嫌いしない、いつも笑顔でいる、よく歩く

特別養護老人ホーム
葛飾やすらぎの郷
吉田 モモコ 様

105 歳



特別養護老人ホーム
葛飾やすらぎの郷
武田 節 様

- ① 福岡県福岡市
- ② 和裁、料理、おもてなし・甘いもの
- ③ 好き嫌いしない(食べ物も人も)

101 歳



新宿デイサービスセンター
寺島 はな 様

- ① 千葉県
- ② お金勘定・白いご飯
- ③ 人それぞれ

101 歳



特別養護老人ホーム
葛飾やすらぎの郷
三浦 ヒサミ 様

- ① 鹿児島県枕崎市
- ② 温泉に入ること、畑仕事・甘いもの
- ③ よく働くこと

101 歳

ファミリーケアたかの
村田 かよ 様

- ① 千葉県
- ② 森進一のファン・天ぷら(特にエビ)、マグロ
- ③ よく食べ、よく眠り、よく笑う

100 歳

グループホーム青戸
深山 静子 様

- ① 東京都
- ② 山登り・梅干し
- ③ 好き嫌いせずなんでも食べる事

**99 歳**

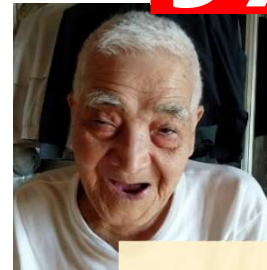
新宿デイサービスセンター
古澤 澄子 様

- ① 東京都
- ② 工作・息子が作ったごはん
- ③ 何でも食べて何でもやる

99 歳

ファミリーケアたかの
山本 君子 様

- ① 東京都
- ② 時代劇鑑賞(暴れん坊将軍が好き)
食べ物はなんでも好き
- ③ なんでも良く食べること

97 歳

ファミリーケアたかの
神前 満次 様

- ① 鹿児島県
- ② 将棋・そば
- ③ 食べる事

98 歳

新宿デイサービスセンター
小林 マツ 様

- ① 千葉県
- ② カラオケ・お寿司
- ③ 良く動く事

98 歳

小規模多機能サービス 葛西みなみ
牛島 静江 様

- ① 東京都
- ② 旅行、歌舞伎鑑賞、映画鑑賞(大川橋蔵さんが大好きです)
野菜(煮しめ)魚(寿司、煮魚)
- ③ 他人の悪口を言わない、噂話をしない、腹八分目(食事)
なので太ったことがありません。

皆様ご協力ありがとうございました。

2022 年も

よろしくお願いします。



すこやか福祉会を支援する会主催 すこやか作品展【個人・団体部門】選考結果発表！



団体：『新宿ディに到着！！』
新宿ディサービスセンター職員・利用者 様



団体：『平和のシャボン玉』
金町学童保育クラブ 在籍児童全 83 名 様



団体：『広告アートにすこふくちゃん！』
ファミリーケアみさと 職員 様



団体：『おむすび神経衰弱ゲーム』
ディサービスセンターすこやか 職員・利用者 様



個人：『立体フラワーアート』
ディサービスセンターみたて 利用者 様



個人：『モチーフのバッグ』
ディサービスセンターすこやか
松本 恵美子 様



個人：『糸掛け曼荼羅』
八潮かえで保育園 柴田 由紀子 様



個人：『和紙人形と和小物』
地域包括支援センター青戸 渡邊 房江 様



『秋色』
グループホームかなまち長谷 三千代 様

2021 年度 介護活動交流集会 ～改めて実感した集会の“3 つの価値”～

手探りの実行委員体制から復活させた「予選会」

11 月 19 日に第 18 回目となる協議会介護活動交流集会が行われました。2019 年までは千住介護福祉専門学校の講堂をお借りし集会型で盛大に開催していましたが、翌年 2020 年は新型コロナウイルス感染症の影響で交流会初のオンライン開催となりました。開催するかどうかの議論もあり予選会をなくし、推薦した事業所を集めての交流会本戦のみという形でした。2021 年の今年も計画段階では、まだコロナウィルスの終息目途がたっていなかった為、オンラインでの開催で実行委員が動き出しました。昨年と違うのは、予選会を復活させたことです。アンケートからも予選会の希望も多数あがっていたことと、この 1 年間でオンラインの操作も身近になったことで予選会を開催することができました。

今回の事例テーマは「民医連綱領・法人理念を大事にした利用者支援、事業所の取り組み」です。予選会はオンラインのメリットを活かし、遠くの事業所でも参加、交流ができるということで事業部別のグループで予選会を開催しました。予選会から選抜された事例は 8 事例です。どの事例もパワーポイントに工夫を凝らし、発表もオンラインでも聞き取りやすいように練習を重ねていました。

テーマは民医連綱領・法人理念を大事にした利用者支援、事業所の取り組み

本戦当日は 107 名の参加があり協議会内部職員の参加がほとんどでしたが、外部からの参加も 4 名ありました。これもオンライン開催のメリットだと思います。介護事業所に来る実習生の学校や関連のある大学、専門学校、高校にも案内を出しましたが残念ながら参加はありませんでした。やはり介護の魅力を発信するという目的からも外部の参加は今後の大きな課題だと思います。



★トロフィー授賞式の様子

集会を通じて共有した「3 つの価値」

本戦の投票は接戦となりましたが、結果は「今動き始めた排泄委員会」を発表した葛飾やすらぎの郷が最優秀事例に選ばれました。

最後に協議会介護活動交流集会は大きく分けて 3 つの価値があると思います。1 つ目は事例を作成し発表する職員とその職場が日々の実践を可視化することで自分たちの奮闘に自信が持てるということ。2 つ目は事例を聞く参加者にとって新たな発見や気づきとなりスキルの向上に繋がるということ。3 つ目は介護現場を知らない人に介護のやりがいや魅力を発信し介護業界のイメージを払拭できるということです。

また来年も今年以上の価値のある交流会が出来るように頑張りたいと思います。改めて、第 18 回協議会介護活動交流集会を盛り上げてくださった全介護事業所の職員の皆様、ご協力ありがとうございました。また来年もよろしくお願いいたします。

湾岸エリアマネジャー
中野 一仁





2021 年 10 月 18 日、19 日、葛飾やすらぎの郷では毎年恒例の「サンマ大会」を開催しました。新型コロナウイルスの影響もあり、今年度はご家族、ボランティアさんは呼ばずに特養、ショートステイ、新宿在宅サービスセンターの利用者様のみで行いました。炭火でサンマを焼くため、地域の方にもお知らせを配り、協力をお願いしました。

新型コロナウイルスが流行する前までは、玄関前で焼けるサンマを見て、においをかいでから 1 階の機能訓練室でサンマを召し上がっていただいていたのですが、現在は、特養の利用者様の 1 階への移動を制限しているため、1 階には降りずに各フロアで、召し上がっていただくことにしました。楽しんでもらう工夫として、玄関前の炭火でサンマを焼いている様子を 2、3 階フロアの食堂から見れるようにパブリックビューイングを設置し、ライブ中継をしました。

また、パソコンの ZOOM を使い、焼いている職員と各フロアの利用者様に会話をしてもらいました。利用者様からは「がんばってください」「美味しいサンマを焼いてください」「楽しみです！！」との声を聴くことができました。今年は新たにきのこの炊き込みご飯をお粥の方は茶粥をお出したところ、とても好評でした。



焼きサンマは、見ていただから目の前でほぐすようにしました。焼きサンマを頭からきれいに召し上がられる方やショ

ートステイ終了後、ご自宅でご家族にサンマを食べたことをうれしそうに話をされ、その様子を報告して下さった方もいました。季節感を感じて楽しんでもらえた「サンマ大会」皆さまのご協力のもと、無事に終えることができました。ありがとうございました。

特別養護老人ホーム葛飾やすらぎの郷
生活援助部長 福留 孝枝



11 月 2 日に、
なのはな組(5 歳児)
が緑の中のファミリー
ランドむさしの村に芋
ほり遠足に行ってきました。
遠足に行くこと決ま



ってから、とても楽しみにしていて、「遠足行くんだよね！楽しみだなー！」と会話してる場面も。芋ほりも楽しみの 1 つですが、もう 1 つ楽しみなものが♪それは……遊園地！！

事前にグループ決め、グループ名を相談しあったり、どの乗り物に乗りたいのか考えたりと子どもたちの準備は万端。当日は朝からウキウキ、ワクワク！観光バスに乗ってむさしの村まで出発♪バスの中でも「まだかなー？」「あとどれくらいで着くかな？」と楽しさが常にあふれていました。到着後「大きいさつまいもあるかな？」と話しながら芋ほりスタート♪少し掘っていくと、「みてみてー！さつまいもでてきたー！」「おっ！これは大きいさつまいもかもしれない！」と夢中で芋ほりを楽しんでいます！結果は大収穫♪「袋おもーい」と言っている姿も。

芋ほりの後は、お待ちかねの遊園地♪各グループに分かれて、観覧車や汽車などに乗って楽しみました！たくさん身体を動かした後は、お家の方が作ってくれたお弁当！レジャーシートを敷いてみんなで丸くなり「いただきますー！」お弁当を朝から楽しみにしていたので黙々と食べていました。1 日とても楽しめたようで、帰りのバスの中はほとんどの子が夢の中へ♪いい夢が見れたかな？収穫したさつまいもは園庭で焼き芋にして美味しくいただきました。

甘くてとても美味しかったです。

野のはな保育園 佐藤 菜渚枝

所長インタビュー 「所長のところ」

金町学童保育クラブ

近藤 永都子



● 略歴紹介

この業界に興味を持ったきっかけは？

元々、中学校、高校(支援学校・定時制)の教師をしていましたが、学校以外の仕事もやってみたいと思い退職。学童保育クラブの事も知り、その仕事のアクティブさに強く惹かれていた所、夫の転勤で関西から葛飾区へ。家のそばにたまたま学童保育クラブがあり、前を通る度に立ち止まり、ジッと子ども達を見つめる自分に気が付き、『見ている場合でない！学童で働こう！』と決心。今に至っています。

仕事に就く前の印象は？

学童保育クラブで働く友人が学童での日々のことを『毎日、子どもの話を聞いていると、えっ！そんなことがあったの・・・辛かったなあ。とか、それは、よかったねえ。嬉しいなあ。とか、子ども達が何でも言ってきてくれて、一緒に泣いたり笑ったりしているねん』と話していて、子ども達との心地よい関係が伺え、学校とは違う「何か」を学童保育に感じていました。

実際仕事をしてどうか？

思っていた以上に深く、たくさんの事が求められ、それに答えていける仕事と分かりました。子ども達を慈しむだけでなく、保護者の皆さんも支えながら皆で共に寄り添って生きていく学童保育。そのやりがいに心が奮えました。

自己紹介 →好きな言葉は『笑う門には福来る』

現在の目標は、今年 4 月から飼いだめた、愛犬シーズーの「つどい」をセラピードッグにすること。一緒に色々な所に行ってお役に立てたらいいなあと思っています。が！既に初級クラスで躰いている状態。つどいが、基本のおいでと待てを気が向かないとしてくれない・・・トレーナーの先生から『つどいママ(私)、つどいちゃんは立派です。ママ頑張れましょ〜』と励まされて？います。

●事業所紹介

事業所の特徴は？

合言葉は『僕らは家族！大すき学童』です。葛飾区内に 3 つの学童を持ち、3 つ合わせて 224 人の子ども達と 20 人の職員がいます。季節を問わず元気いっぱい子ども達と先生達の姿がみられ【第二のお家】学童保育で楽しく元気に過ごしています。

事業所の職員どんなかんじ？

皆さん、とにかく、子どもが大好き！子ども達の為なら一肌でも二肌でも脱ぎましょ〜という心意気を持ち、明るく熱心で素敵な人ばかりです。私は保護者として『うちの学童は、宝くじにあったような先生ばかりよね〜』と話しています。笑

職場の雰囲気は？

いつも賑やかです。あちこちで子ども達の声と一緒に遊ぶ先生達の声が響き渡っています。まさに子ども達の楽園です。ちなみに地域の方からは『泥んこになるなら金町学童ね』と言われています。

仕事のやりがい

この仕事ならではの難しさを感じる時は？ →子どもや保護者を取り巻く環境で辛い事があっても学童で出来ることの限界を感じる事もあり、ジレンマに陥ります。

仕事をするときに意識していることは？

(支援員として施設長として) 支援員としては、子どもや保護者のようすに気を配り、小さな変化も見逃したくないと強く思っています。施設長としては、職員の皆さんに毎日、安心して働いて頂きたく、《泥は先頭に立って被る》《いつも明るく前向きに》です。

今後の(仕事に対する)展望は？

学童保育を取り巻く社会情勢は、他の子ども関係の施設に比べて決してよくありません。補助金一つをとってもその安さや待遇の低さに憤りを感じて来ましたが、でも、声を上げて行くこと。周りに伝えていくこと。あきらめないで学童保育に誇りを持ち続けることを今後も大切にしていきます。